

学年	科	コース	教科	単位数	担当者
1	工業		化学基礎	2	菊澤・牧
担当者(担当クラス)		菊澤(1・3組) 牧(2組)			
この科目を履修するための条件や準備					
教科書・ノートを必ず用意すること。 日常生活の中で化学がどのように活かされているかについて興味・関心を持つこと。					
この科目のねらい 目標					
物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探求するために必要な資質・能力を育成する。					
具体的な指導方法					
ノートに板書の内容を記入させ、教科書にある問題を随時解かせる。 ノートチェックは定期考査前に行う。ただし抜き打ちで提出させる場合もある。					
使用教材					
使用する教科書			使用する副読本		
104 数研 化基 320 改訂版 新編 化学基礎			なし		
評価方法					
定期考査(年間 5 回)・平常点(授業態度・提出物・宿題の取り組みなど)で総合的に判断する。					
年間授業計画					
I. 1学期中間考査まで ※4. 5月の課題及び1学期期末考査後の補充授業で対応					
教科書	3～9P 13～26P	序章 第1編	化学と人間生活 第1章 物質の構成	①混合物と純物質 ②物質とその成分 ③物質の三態と熱運動	
II. 1学期期末考査まで					
教科書	28～40P	第1編	第2章 物質の構成粒	①原子とその構造 ②イオン ③元素の周期表	
III. 2学期中間考査まで					
教科書	42～66P	第1編	第3章 粒子の結合	①イオン結合とイオンからなる物質 ②分子と共有結合 ③共有結合結晶 ④金属結合と金属	
IV. 2学期期末考査まで					
教科書	75～88・99P	第2編	第1章 物質と化学反応式	①原子量・分子量・式量 ②物質質量 ③溶液の濃度	
V. 学年末考査まで					
教科書	89～99P	第2編	第1章 物質と化学反応式	④化学反応式と物質質量	
	101～109・118 P	第2編	第2章 酸と塩基の反応	①酸・塩基 ②水の電離と水溶液のpH	